（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　のびのび			
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日	～	令和8年2月6日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日	～	令和7年9月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基幹相談支援事業等との連携体制	同じ建物内に基幹相談支援事業所等があり、連携が取りやすい。関係機関等と協力して対応する必要があるケース等では、基幹相談を中心に支援者会議を行う等している。	同じく同一建物内にある就業・生活支援センターとも連携しながら、学校卒業後の就労等に向けた支援も充実させていく。
2	法人としての研修体制や業務マニュアル等が十分整備されており、職員のスキルアップや支援の改善につなげやすい	研修計画に基いて職員が事業内外の研修に参加できる機会を設け、支援のスキルアップに努めている。また、業務マニュアルを随時見直す仕組みがあり、より効果的な支援を行うことができる。	利用者の特性に合わせた適切な支援が実施できるよう、より効果的な研修や支援の見直しを進めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との連携や情報共有	毎月のおたよりの発行や、連絡帳等を通じた情報交換は行っているが、支援内容の共有等はかならずしも十分とは言えない現状にある。	支援計画作成時をはじめ、保護者との話し合いや情報交換の場を多く設ける。また、相談等は常時受付をしていることを改めて周知する。
2	保護者支援(研修会の開催や保護者参加行事等）の取り組み	事業所として保護者向けの研修会などは実施できておらず、また、以前は実施していた保護者参加行事は新型コロナウィルス流行期に取りやめて以降実施していない。	保護者のニーズを十分把握したうえで、研修や保護者参加行事等を検討していく。 また、県医療療育センターが行っている保護者向け研修等の情報提供をより積極的に行っていく。